

藤崎台県営野球場 地震災害マニュアル

平成 28 年 7 月 1 日

緊急地震速報（気象庁）

◇緊急地震速報（予報）

→ 最大震度 3 以上又は、マグニチュード 3.5 以上と予想される場合

◇緊急地震速報（警報）

→ 最大震度 5 弱以上と予想される場合

◇特別警報

→ 震度 6 弱以上と予想される場合（気象庁 HP より）

*熊本地震では、携帯電話等により「緊急地震速報」として発報された。

【地震発生時の対応】

○携帯電話等により、「緊急地震速報」が発報された場合

◀「緊急地震速報が」の発報がなく、地震が発生した場合も同様の取扱いとする。▶

→ 直ちに大会本部責任者の指示の下、場内アナウンス及びスコアボードスクリーン（以下「スコアボード」）により観客や選手に周知する。

→ 球場職員は、テレビ等により情報収集を行い、高野連責任者に情報を提供する。



◆場内アナウンス

「只今、緊急地震速報を受信しました◀只今地震が発生しました。▶。」

その場を動かず、安全な姿勢をとってください。」

「次の場内アナウンス又は、係員の指示をお待ちください。」

●スコアボード

「緊急地震速報を受信しました◀只今地震が発生しました。▶。」

その場を動かず、安全な姿勢を取ってください。」

地震が、5弱以下の場合



◇揺れが弱い場合（震度1から震度3程度を想定）

***揺れの強弱の判断は、球場責任者と高野連責任者で協議し判断する。**

◆場内アナウンス（繰り返しアナウンスする）

「お客様にお知らせします。地震が治まりました。只今の地震は弱い揺れでしたので、只今から試合を再開します。」

●スコアボード

「地震が治まりましたので、試合を再開します。」

◇揺れが強い場合（震度4から震度5弱以下を想定）

***揺れの強弱の判断は、球場責任者と高野連責任者で協議し判断する。**

◆場内アナウンス（繰り返しアナウンスする）

「お客様にお知らせします。地震が治まりましたが、只今の地震は強い揺れでしたので、安全を確認しておりますので、そのまましばらくお待ちください。」

◎避難はさせないが、安全点検が必要な場合

□観客の安全確保

・係員（高野連）による観客の安全確認。（怪我や精神的動揺など）

□安全点検項目

①照明塔（6塔）からの落下物（目視点検：高野連職員1名と審判員2名）

・落下物がないか。落下しそうな器具はないか。

②メインスタンド屋根部材（目視点検：球場職員1名）

・特に取替修繕した箇所の確認。

③外周石垣（目視点検：球場職員1名と高野連職員3名）

・特にレフトスタンド側の石垣の状況確認。

④メインスタンド全体（目視点検：球場職員1名と高野連職員2名）

・室内と各出入口

●スコアボード

「只今、地震が発生しました。安全確認のため、試合を中断しています。そのまましばらくお待ちください。」

↓（安全確認完了）

◆場内アナウンス

「お客様にお知らせします。安全が確認されましたので、試合を再開します。なお、次の地震も予想されますので、その場合は場内アナウンス又は、係員の指示に従ってください。」

●スコアボード

「安全確認ができましたので、試合を再開します。」

地震が、5弱以上の場合



◀「緊急地震速報が」の発報がなく、地震が発生した場合も同様の取扱いとする。▶

◆場内アナウンス（繰り返しアナウンスする）

「只今、緊急地震速報を受信しました◀只今地震が発生しました。▶。

その場を動かず、安全な姿勢をとってください。」

「次の場内アナウンス又は、係員の指示をお待ちください。」

●スコアボード

「緊急地震速報を受信しました◀只今地震が発生しました。▶。

その場を動かず、安全な姿勢を取ってください。」



◇揺れが強い場合場（震度5弱以上を想定）

*避難の有無の判断は、球場責任者と高野連責任者で協議し判断する。

◎観客と選手を避難させる場合

◆場内アナウンス（繰り返しアナウンスする）

「お客様にお知らせします。地震は治まりましたが、強い揺れであり、次の地震も予測されますので、試合を中断します。観客と選手の皆様は、係員と場内アナウンスの指示に従い、あわてずに屋外へ避難して下さい。」（別紙図面参照）

●スコアボード

「安全確保のため、観客と選手の皆様は、係員の指示に従い屋外へ避難して下さい。」



避難誘導のため係員（高野連職員、球場職員、審判員）は、定められた場所へ移動し、避難者を定められた避難場所へ誘導させる。（別添図面参照）

<注意事項>

*不安や動揺を起こさないように、常に「落ち着いて避難して下さい。」

「ゆっくり歩いて避難して下さい。」などの声掛けを行い安心感も持たせる。

■観客及び選手は、各避難場所で待機する。

*係員は、避難者に「只今安全を確認しています。そのまま待機して下さい。」旨の声掛けを行い、不安や動揺をさせないようにする。

■係員（球場職員、高野連職員）による安全点検実施。

□安全点検項目

- ①照明塔（6塔）からの落下物（目視点検：高野連職員1名と審判員2名）
 - ・落下物がないか。落下しそうな器具はないか。
- ②メインスタンド屋根部材（目視点検：球場職員1名）
 - ・特に取替修繕した箇所の確認。
- ③外周石垣（目視点検：球場職員1名と高野連職員3名）
 - ・特にレフトスタンド側の石垣の状況確認。
- ④メインスタンド全体（目視点検：球場職員1名と高野連職員2名）
 - ・室内と各出入口

↓（安全確認完了）

*安全確保及び試合再開の判断は、球場責任者と高野連責任者で協議し決定する。

◎安全が確保できた場合

↓

【試合再開】

→ 係員（高野連職員）は、観客を球場内に誘導する。

◆場内アナウンス（繰り返しアナウンスする）

「お客様にお知らせします。点検の結果、安全の確保が確認されました。観客席に戻る場合は、走ったりしないように、落ち着いて行動してください。」

「試合再開まで、しばらくお待ちください。」

●スコアボード

「安全確保が確認できましたので、試合を再開します。しばらくお待ちください。」

◎安全が確保できない場合

↓

【試合中止】

→ 係員（高野連職員）は、避難者に「安全確保が出来ないため、試合中止とする。」旨を周知する。

◆場内アナウンス（繰り返しアナウンスする）

「只今の地震により安全確保が出来ないため、本日の試合は中止します。」

●スコアボード「只今の地震により安全確保が出来ないため、本日の試合は中止します。」